

盈進学園の パタン・ランゲージ

環境構造センター

盈進のパタン・ランゲージは次の8章からなっている。

第1章 全体的特徴

第2章 内境内

第3章 内境内の建物

第4章 内境内の通り

第5章 外境内

第6章 主要建築の内部構造

第7章 特別な外部詳細

第8章 建物の内装の特徴

以下は1～3章および8章の要約である。

第1章 全体的特徴

- ①石の土台塀、木の柱、白い壁、2、3箇所特別なところに朱色の漆材、深々と庇をのぼす屋根、濃い地味な屋根の色、地面の石や草が建物や敷地を特徴づけている。
- ②まず敷地を囲む外塀がある。
- ③外塀の内側に全敷地の約 $\frac{1}{2}$ にあたる小さな面積を囲む内塀がある。
- ④内塀の内側の領域を〈内境内〉と呼ぶ。ここは、高校や大学の主要な建物がたつ密度の高い領域である。
- ⑤内塀と外塀の間は〈外境内〉であり、庭園や運動場、そして種々の独立して建つ、外建築がある。

第2章 内境内

- ①内境内への入口は、外境界で始まる。外境界の重要なポイントに第1の門がある。
- ②この第1の門は建築物である。
- ③第1の門より内境内に向けて〈玄関道〉がある。玄関道の両側に壁か樹木が並び非常に静かである。
- ④「玄関道」が内境内と出会うところに第2のより大きな門がある。これがメイン・ゲート（正門）である。
- ⑤正門の内側には中央広場がある。この広場は大講堂と共に構成され、その講堂の正面は庭に向かっていてる。
- ⑥中央広場の先に、そして第3の門を通り抜けると、ホームルーム通りがある。ホームルーム通りは、幅広く、活気のある、陽のあたる通りで、個々のホームルーム教室建物群によって構成されている。
- ⑦ホームルーム通りの先に第4の門を通り抜け

ると高校と大学のもっとも大切な中心がある。この大切な中心は前にも述べてきたように幾重もの層を通り抜けて到達できる場である。そして、それ自体にもさらに重なり合いがあり、それ以上の静けさがそこにある。

- ⑧このもっとも大切な中心は、かなり大きく、それ自体ひとつの世界を形成している。内境内の内部にあって小道や門で区切られ、この中心は高校と大学の大部分を構成している。
- ⑨このもっとも大切な中心は唯一のものであり、同時に心臓部であり、高校と大学の交差するところであるから、ふたつの道が交差する十字形に近い形となる。漢字の〈田〉の字に似ているのでそれをわれわれは〈田の字センター〉と名づける。
- ⑩〈田の字センター〉を形成する通りと小径の交差する地点に小さい中心がある。この場所は、田の字センターのにぎやかな中心である。
- ⑪そして、田の字センターの先端は一段高いところで、また、もっとも平和な場所に向かっている——われわれはこれを〈大学回廊〉と呼ぶ。これは大学の内なる聖域であり、全学で一番平和な場所である。静かに瞑想をしたくなる場所である。
- ⑫また、田の字センターより直接に枝別れしているのは、ホームルーム通りである。ホームルーム通りは、高校生のクラスのある個々のホームルーム教室建物群によって構成されている、広くて活気のある陽の当る通りである。
- ⑬田の字センターの向かい側の門を通り抜けたところに芝生がある。この芝生は特に大学生に使用されるが、大学の建物に囲まれており、真直ぐ、湖に至る。
- ⑭湖は、平和な憩いの場所である。

第3章 内境内の建物

- ①中央広場の主要な建物は講堂である。講堂は細長く、600人着席でき、小部屋と廊下で囲まれているので、重要な集会のために1,200名全員着席できる。
- ②中央広場にある第2の建物は盈進博物館である。小さな建物で、学校と教育方針を訪問者に説明している。この広場をとり囲む小さい建物が他にもある。
- ③田の字の碁盤目を形成する建物は大学の各学科である。こうすることで、大学をひとつの全体として感じられるように組織されている。各学科は周辺部に配置され、人びとは、ここを通り抜ける時には、ひとつの大学全体を感じる。
- ④大学の学科の各々に中庭がある。ここで学ぶことは、庭の存在を感じることもである。
- ⑤田の字センターのど真中に学生会館がある。3階建ての高さでちょうどふたつの道が交差

する中心線上にある。

- ⑥さらに、大学と高校で共有する建物が他にもある。田の字の碁盤目の内側の中心と通りを形成している。これらの建物は、小体育館、クラブの部室、小教室と講義室である。
- ⑦ホームルーム通りを形づくる建物は、個々のホームルーム教室建物群である。この建物の各々は2階建てで、各階に1教室ずつあり、2階の教室からは、直接地面にでられるように階段がついている。
- ⑧ホームルーム通りに向かって、大体育館が主要な中心を構成するように位置づけられている。状況次第では、この主要中心は外境内に動かされることもあるだろう。
- ⑨ホームルーム通りの第2の中心は、職員室でありどこか通りの真中近くに位置し、すべてのホームルーム教室にできるだけたやすく行けるようにしてある。
- ⑩大学回廊を形成する建物は大学教授のための研究の建物である。これらは、地方自治の問題やリサーチについて徹底的な討議が行なわれる建物である。
- ⑪大学の主要な中心は、図書館である。2階建てで、主読書室は、2階にあり、下階はオープン・スペースで人びとはそこを通り抜けることができる。

第8章 建物の内装の特徴

- ①内装の調子は暖かく、控えめである。木の柱、床、壁が各所にあり、白障子や白天井の横には、淡い菊色の紙や絹の布に似たうす黄色の壁がある。
- ②建物の床は通常のものより、地面から少し高めにもち上げられている。
- ③教室の床の多くは木製かカーペット敷きで、教室内では靴を脱ぐ。
- ④すべてのホームルーム教室には、南向きの大きな窓がついている。
- ⑤教室の多くは、一方に縁側があり、その向こうから入ってくる光は障子を通して射しこんでくる。
- ⑥各所の壁や表面は自然のまま加工されていない木でできている。
- ⑦教室やいろいろな他の部屋には、何人かの生徒が共に使う丈夫でがっちりした木製の机が置かれている。
- ⑧大きい建物には、学生が自分たちを見ることができる鏡が置かれている。
- ⑨建物の外には花壇がいたるところにある。
- ⑩高校キャンパス内の屋内いたるところ、他の地味な色を背後に柔らかな色のハイライトを配する。淡い青色を背景に描かれた人物像とか……あるところでは、そういう青を背景にした黄色のアイリスというように。